

## クワズールー・ナタール州で教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力（GGP）の引渡し式を実施（2）

2024年5月24日、牛尾滋駐南アフリカ共和国特命全権大使は、日本大使館が草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて実施した、セント・パトリックス小学校教室棟建設計画の引渡し式に出席しました。同式典には、南アフリカ基礎教育省高官、ウムジント地区教育担当官、セント・パトリックス小学校運営委員会関係者及び地域住民の方々が出席しました。

ウムジント地区（ダーバンから南に車で1.5時間）に所在するセント・パトリックス小学校は約1,100名の児童が通う公立学校で、教室は過密状態にあります。また、2022年4月に同州で発生した洪水で甚大な被害を受けた学校の1つです。日本大使館は、同校に新たに教室棟1棟（3教室）を建設するための協力を行いました。引渡し式において、牛尾大使は、教育分野への協力は、子どもの自由と明るい未来、そして幸福追求のための協力であり、特に過密状態が著しい環境下で適切な学習環境の確保に困難を抱える南アフリカの人々への協力であると述べました。

日本政府は経済・社会的格差の是正を南アフリカ共和国に対する開発協力方針の優先分野のひとつに掲げており、日本大使館は現在までに南アフリカ共和国全土で草の根・人間の安全保障無償資金協力による支援を600件以上実施してきました。また、日本大使館は、教室棟建設の協力を通じ、子ども達が前向きに学習に取り組める環境を整備することで長期的に教育の質の向上及び児童の健康的な育成に寄与することを期待します。

